

未就学児の親子を対象としたプログラムの実施報告

和田 優子

(横浜市立野毛山動物園)

2025 年 8 月の土日祝日に 1 日 3 回、未就学児を対象とした親子プログラムを実施したため報告する。

当園は、はじめての動物園「First Zoo」を掲げているが、未就学児を対象としたプログラムはがななかよし広場での「小動物ふれあいプログラム」のみとなっている。そのため、わかりやすいテーマを用いたプログラムを作成し、試行することにより、未就学児連れの親子の反応やニーズを確認することと、未就学児に動物を身近に感じてもらうことを目的として実施した。

プログラムは、モニターを使用し、哺乳類、鳥類、爬虫類の赤ちゃんの解説とモルモットの親子を観察する「どうぶつの赤ちゃん」、ペンギンを題材とした絵本の読み聞かせとペンギンを観察しながら出現した行動でビンゴをする「ペンギンかんさつたい」の 2 種類のプログラムを未就学児とその保護者を対象に実施し、終了後にはアンケート調査を実施した。

アンケートでは、参加者の 98%がプログラムの内容は「とてもよい」、「よい」と回答した一方、10%の参加者がプログラムの時間が「長い」、「少し長い」と回答した。今後どのようなプログラムに参加したいかでは、動物との直接的なふれあいや身近で動物を見ることを希望した回答が多かった。

今回実施したプログラムは動物の観察や、身体を動かす参加型であったため、子供が楽しく過ごすことができ、保護者親からの評価が高くなった。今後も、子供を飽きさせない工夫を取り入れ、動物について学びながら、親子で楽しめるプログラムを提供していきたい。